

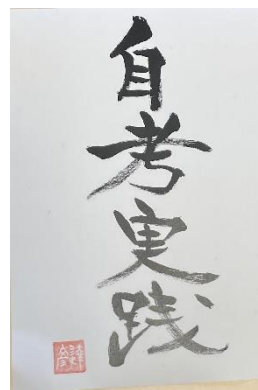
「3つの期待」

校長 前田 達彦

このあと入学してくる1年生も含めた全校生徒、55名の皆さんに期待したいことを3つ話します。

第1の期待は、「自分で考え、自ら実践する」という意味の「自考実践」です。学習や部活動、学校行事など、あらゆる場面で「自分でしっかりと考え、実践していく」ことを意識してください。「良いか悪いか」「すべきか、すべきでないか。」を正しく判断しながら実践することで、皆さん自身が大きく成長してほしいと期待しています。その鍵は、「自考実践」することにあると思います。

第2の期待は、「誠実」であってほしい、ということです。校訓にもある「誠実」という言葉を大切に、意識してほしいと思います。校則や約束事を守り、人に優しく、思いやりのある言動ができる、そういう「素直で、誠実な高校生」であって欲しいと願っています。そして、その誠実な姿勢が表ににじみ出てくるように、何事にも「丁寧に」取り組んでほしいと思います。雑な対応や適当な言動の中には、決して誠実さは見えてきません。いろんな場面で「丁寧に」という言葉を自分に言い聞かせながら学校生活を送ってみてください。



第3の期待は、「夢や目標を持ってほしい」ということです。夢や目標があって、それに向かって懸命に努力する姿は美しく輝きます。それぞれにとって「大事なこと」「大切なこと」に「本気」で取り組んでほしい。皆さんの、夢や目標に向かう、様々な場面での「本気」が見たいと期待しています。

この3つの期待、そして、それを達成するためのキーワードを話しました。これらを意識しながら「今の自分より一歩前へ、そして1つ上を目指す」。そういう1年であってほしいものです。

今、世界各地で生じる戦争や紛争、加えて異常気象や自然災害による被災など、様々な不安が募ります。しかし、本日こうして始業式ができ、午後からは入学式もできる。今ここ長崎が、新上五島町が平和であることに、深い感謝の念を抱きながら、皆さんと共に、令和8年度が新たな活気のある年にしていきましょう。

(第1学期始業式 校長講話より抜粋)